

山形さんを よろしく



何事にも熱心な山形さん

元市議会議員 二平 基代枝

ゆみ子さんとは、かれこれ30年近いおつきあいで、子供の保育園や小学校も一緒に、何事にも熱心というのが一番の印象です。子供を可愛がり、猫を可愛がり(彼女は動物好き)、料理も上手、いいお母さんをしながら生協の役員として消費者運動に、福祉の仕事に一生懸命でした。多くの経験をこんどは市民の暮らしに役立ててください。



弱者の苦しみに共感の人

元市議会議員 大和田喜市

弱者イジメの住民税増税と、介護保険料や国保税の大幅引き上げ、さらに医療改悪の追い打ち。長い間、福祉の仕事で弱者の苦しみに共感してきた山形さん。お年寄りや障害者を切り捨てる自公政権の悪政から住民を守る防波堤として、キッパリとものが言える議員が必要です。山形さんの活躍を期待します。



暮らしを守るために必要な人

元ひたちなか市職員 川崎不二男

今年から私たちの市県民税が2倍以上になります。地方分権のせいだそうです。国保・介護保険料、医療費自己負担などは政治的に引き上げられ、市民生活にかかる分は引下げられてきています。税金の使い道をチェックし、格差社会をつくりだした政治を正すために、頑張れるのは山形さんしかいないと期待しています。

ゆみ子の信条

佐野中学校の裏庭の、小さな石碑に書かれていた元校長先生の言葉です。自分の「宿題」は何か、いつも考え続けています。

「我が宿題を解け」



山形ゆみ子の 人柄紹介

いのちの平等

平和

わたしの活動の力で

このまちに住んで35年。ふたりの子どもを育てながら、母親運動やくらしを守る取り組みを、お母さん達と一緒にすすめてきました。多くの方々から学んだ「いのちの平等」と「平和」。わたしの活動の力になっています。

生協運動

広がった 仲良しの輪とちから

「子どもたちに安全な食品を」と始めた生協。産地見学や学習会、また映画会などを通してみんなの瞳が輝き、仲良しの輪が広がりました。生協理事を11年つとめました。



「生きていてよかった」と 高齢者福祉

「人権を大切にする介護」をめざす高齢者福祉施設で、友の会事務局長などをしながら9年間働きました。戦争を体験し、たくさん苦労されてきた高齢者をいじめる政治は絶対許せない——いまこんな気持ちでいっぱいです。

子育て

親も子ども 泥んこになって

働くお母さんの子育ては大変です。心豊かな保育、子どもたちの生きる力を育てる教育を求めて、父母の会・PTA活動に参加しました。地域では先生方と一緒に「教育を語る会」を開きました。



山登り 一步一步を 明日につなげて

先天性の股関節脱臼で、歩けるようになったのは3歳でした。山歩きをする私の姿をみて、年老いた両親はいまでも目を細めます。自然の豊かさ・偉大さには謙虚な心を学び、厳しい環境に咲く植物との出会いには「私もがんばらなければ」と勇気をもらいます。

